

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠 草の根活動支援事業・災害支援事業

1. 日時：2021年8月20日（金）開会15:00－閉会17:00
2. 場所：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）[委員長・議長]
- ・菅野拓（京都経済短期大学・地理学者）
- ・山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）
- ・山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）
- ・米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
- ・審査事務局：JANPIA

4. 議題

2021年度通常枠 第1回草の根活動支援事業・災害支援事業の審査

5. 申請の状況

- (1) 草の根活動支援事業：17団体 17事業（全国：8事業、地域：9事業）
- (2) 災害支援事業：3団体 3事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、草の根活動支援事業、災害支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員5名の出席により、審査委員長が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・ 山内亮太
　　－特定非営利法人カタリバ
- ・ 米田佐知子
　　－特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
　　－全国食支援活動協力会
　　－公益財団法人パブリックリソース財団

災害支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 1 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 一般社団法人 RCF
 - ・ コーディネーターとしてのノウハウをしっかりと組織内で共有をいただくこと、また得意分野での豊富なノウハウ等を十分活かした事業展開、今後の波及効果に期待する。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 2 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 公益財団法人地域創造基金さなぶり
- 公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル

草の根活動支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 7 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター
- 公益財団法人パブリックリソース財団
- 公益財団法人南砺幸せ未来基金

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 社会福祉法人全国盲ろう者協会
 - ・ 団体としての中間支援・助成団体としての体制面・実行面では、実効性を確保できる体制整備など、JANPIA とも連携の上事業を展開をお願いしたい。
- 一般財団法人中部圏地域創造ファンド
 - ・ 実行団体の役割、この事業の中での位置づけといったところが、本申請の特徴となる点である反面、具体的にどういう形で効果を発揮していくのかという点で、全体感が捉えにくい面もあり、整理をいただけるとよい。
- 特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
 - ・ 本事業を通じてのネットワーク形成の到達点を意識された事業組み立て、実行団体の選定等ご配慮をお願いしたい。

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの懸念事項が示された。懸念事項について団体に確認し、解消されれば理事会に推薦することとした。

- 認定特定非営利活動法人カタリバ
 - ・ 本申請事業の採択にあたっては、団体の当該分野での課題解決の手法や「社会教育コーディネーター」の活動を通じた支援といったオリジナルなノウハウを移転していく考え方を含めて、本助成プログラムの全体的な考え方等を確認させていただき、本申請事業実施による効果最大化に向けた意見交換をさせていただきたいと考える。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 10 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 公益財団法人みらいファンド沖縄

- 公益社団法人日本サードセクター経営者協会
- 特定非営利活動法人北海道 NPO ファンド
- 一般社団法人全国コミュニティ財団協会
- 認定特定非営利活動法人 あきたスギッチファンド
- 特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク
- 社会福祉法人青森県社会福祉協議会
- 公益財団法人お金をまわそう基金
- 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構
- 一般社団法人大学支援機構

以上

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠 ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業

1. 日時：2021年8月20日（金）開会10:00－閉会12:00

2. 場所：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・高原康次（グロービス大学院 講師）[委員長・議長]
- ・町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
- ・永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）
- ・功能聰子（ARUN 合同会社代表）
- ・治部れんげ（ジャーナリスト）
- ・審査事務局：JANPIA

4. 議題

2021年度通常枠 第1回ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業の審査

5. 申請の状況

- (1) ソーシャルビジネス形成支援：3団体 3事業
- (2) イノベーション企画支援：10団体 10事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業の区分ごとに行なった。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 5名の出席により、審査委員長が議長を務め、審査を行った。議事において

は、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告による確認を行い、利益相反関係がないことを確認した。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・申告なし

ソーシャルビジネス形成支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 2 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 一般財団法人社会変革推進財団

- ・ 地域金融機関との連携などを通じてノウハウが移転されることで継続的な社会課題解決へのつながることを期待する。

■ 一般社団法人全国古民家再生協会

- ・ 資金管理や全国規模でのサポート、現場の古民家利用にあたってのリスク管理などについて、連携先との間でどのような体制・役割分担で臨むのか等、確認をさせていただきたい。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 1 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 一般社団法人バイオビジネス創出研究会

イノベーション企画支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 1 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項が

あり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 公益財団法人長野県みらい基金

- ・ 対象とする課題/成果の範囲は広いため、取り組む地域の特徴もしくは課題の種類、支援対象、手法の適用など実行団体単位では事業の軸となる部分を絞り込むなどの工夫があるとよいのではないか。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 8 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 一般社団法人全国食支援活動協力会
- 公益財団法人パブリックリソース財団
- 一般社団法人グラミン日本
- 株式会社トラストバンク
- 一般社団法人 JSIE
- 特定非営利活動法人こどもたちのこどもたちのこどもたちのために
- 株式会社 CAMPFIRE SOCIAL CAPITAL
- 公益財団法人九州経済調査協会

以上